

霞ヶ浦の平成30年度水質概況について

令和元年6月17日(月)
県民生活環境部環境対策課

1 COD (図1)

全水域平均で7.3 mg/Lとなり、29年度(7.4 mg/L)より0.1 mg/L低くなった。また、湖沼水質保全計画の目標である7.4 mg/Lより低くなった。

長期的には昭和54年度と平成21年度に2回のピークがあり、その後はおおむね横ばいである。

2 全窒素 (図2)

全水域平均で1.0 mg/Lとなり、29年度(1.0 mg/L)と同等であった。変動が大きいものの長期的に横ばいで推移している。

3 全りん (図3)

全水域平均で0.095 mg/Lとなり、29年度(0.092 mg/L)より0.003 mg/L高くなった。長期的に上昇しているが、近年は横ばいで推移している。

図1 COD(年平均値)

水域/年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H32 目標
西 浦	6.6	6.6	7.8	6.8	6.9	6.7	7.2
北 浦	7.3	7.5	8.9	7.8	8.4	8.4	7.8
常陸利根川	6.7	7.3	8.3	7.2	7.5	7.6	7.6
全水域平均	6.8	7.0	8.2	7.2	7.4	7.3	7.4

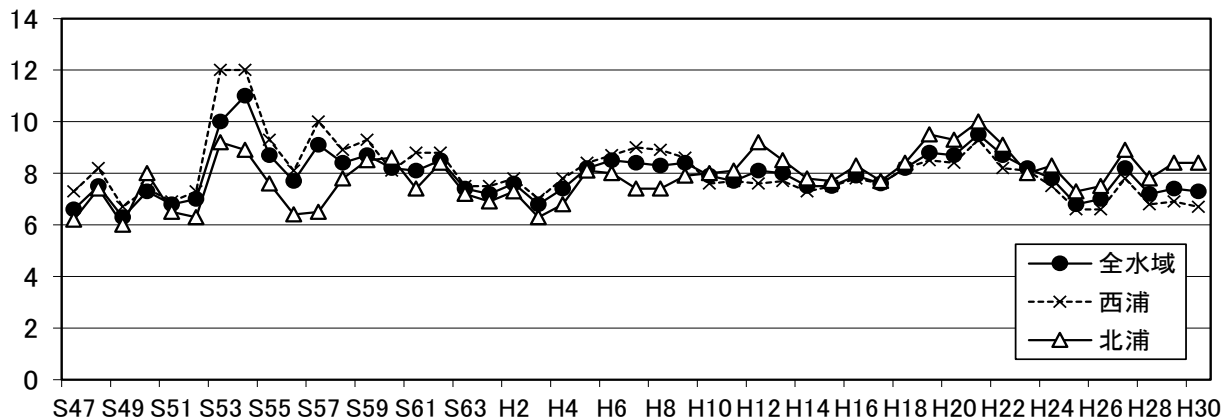


図2 全窒素 (年平均値)

(mg/L)

水域/年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H32 目標
西 浦	1.3	1.2	1.1	1.1	0.99	0.88	1.1
北 浦	1.4	1.4	1.2	1.3	1.2	1.3	1.1
常陸利根川	1.1	1.1	0.89	0.92	0.86	0.96	0.89
全水域平均	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0

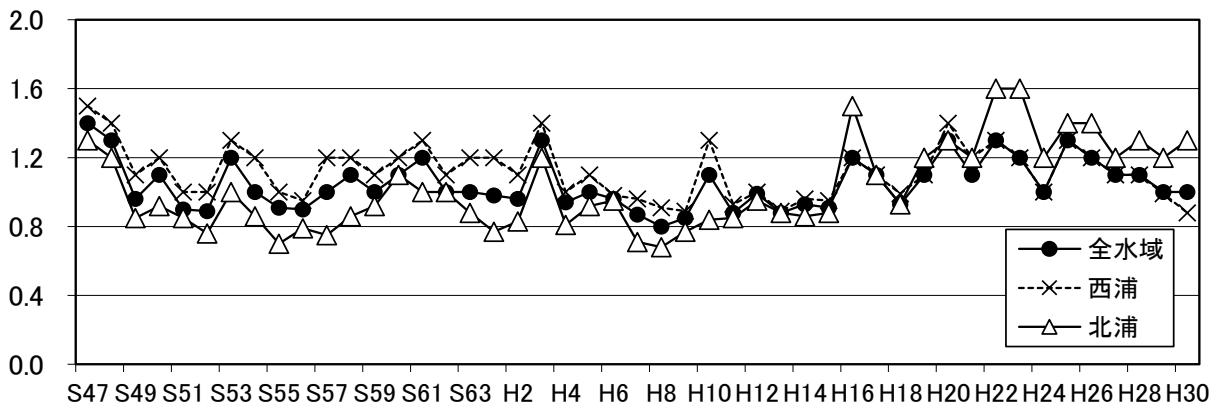
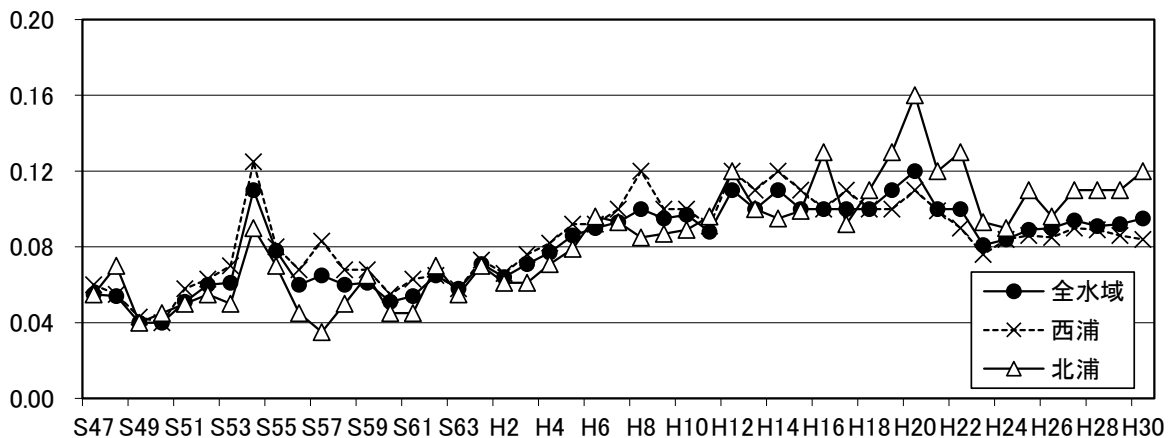


図3 全りん (年平均値)

(mg/L)

水域/年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H32 目標
西 浦	0.086	0.085	0.090	0.089	0.086	0.084	0.080
北 浦	0.11	0.096	0.11	0.11	0.11	0.12	0.099
常陸利根川	0.078	0.092	0.090	0.082	0.088	0.093	0.080
全水域平均	0.089	0.090	0.094	0.091	0.092	0.095	0.083



4 流入河川の状況

(1) COD (図4)

西浦及び北浦流入河川ともに、長期的には低下傾向にあるが近年は横ばいである。

(2) 全窒素 (図5)

西浦流入河川は長期的には横ばいである。

北浦流入河川は15年度以降6～7 mg/L程度で推移している。

(3) 全りん (図6)

西浦及び北浦流入河川ともに、近年は0.1 mg/L以下で推移している。

